

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

山口市誕生20周年記念式典を行いました

10月4日（土）に山口市誕生20周年記念式典を行いました。

本市は、20年前の平成17年10月1日に、山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町の1市4町が合併し、新たな「山口市」としての歩みを始め、平成22年には阿東町が加わり、現在の山口市の形となりました。



▲功労者表彰式の様子

市長は、「これまで、安心して住み続けられるまち、人々から選ばれるまちを目指して、都市政策の柱に『広域県央中核都市づくり』と『個性と安心の21地域づくり』の2つを掲げ、旧1市5町を新たな『県都山

口』として再構築を進めてきた。新市誕生から20年を迎え、これまでの『合併モードのまちづくり』から『新たなまちづくりのモード』へ移行することで、皆様と共に『ずっと元気な山口』をつくっていきたい。そして、次代を担う子どもたちにも、将来、『これが私のふるさとだ』と言ってももらえる、そのような山口市を目指したい」とあいさつしました。

式典では、地域づくりや自治会活動、保健医療や経済等の分野において、本市の発展にご貢献いただいた57団体と1個人を表彰したほか、20年の歴史を振り返る映像アーカイブやオンラインによる20歳の市民のリーメッセージも披露されました。

また、式典終了後には、國學院大學観光まちづくり学部長・教授の西村幸夫氏による「地域それぞれの個性を活かしたまちづくりのこれから」と題した特別講演会が行われました。

問 総務課 ☎ 083・934・2908

湯田温泉こんこんパークの入館者が10万人を達成しました

令和7年6月1日に開館した湯田

温泉こんこんパークの入館者数が、10月8日（水）に10万人に到達し、記念セレモニーを開催しました。

10万人目の入館者となられた、市内在住の久富さん親子には、花束と記念品が贈られました。

久富さんは「こんこんパークはよく家族で利用しており、1歳の息子は遊具と大きな階段、小学生の娘は足湯が気に入っている。私はマルシェ等のイベントに参加しており、心も体も癒されている」と話されました。

市長は「湯田温泉こんこんパークには、温泉施設や遊具、カフェ、休憩スペースのほか、大屋根広場でさまざまなイベントを行っており、いろいろな楽しみ方ができる施設。ぜひこれからもしっかりと利用してほしい」と感謝の気持ちを伝えました。



▲記念撮影の様子

問 湯田温泉パーク整備推進室 ☎ 083・934・2615

表紙の写真

「伝統が息づく荘厳な舞」

表紙の写真は、阿東嘉年地域にある嘉年八幡宮で奉納された土居神楽舞の様子です。

土居神楽は石州舞に属するもので、日本神話を題材とした演劇の要素を持っています。大正時代初期、島根県より講師を招き、定着したものといわれています。昭和時代初期までは、阿東地域にはいくつかの神楽がありましたが、現在残っているのは土居神楽のみであり、本市の無形民俗文化財に指定されています。

土居神楽舞保存会では、伝統芸能の継承のため、祭事に限らず、さまざまな場で舞を披露されており、本市がホノルル市と友好都市提携を結んだ際の祝賀会でも披露されました。言葉の壁を超えて、舞の一挙手一投足の力強さと美しさから、日本の文化を感じられている様子で、興味深く見入っておられました。

問 広報広聴課 ☎ 083・934・2753



▲ホノルル山口県人会の方が土居神楽舞の衣装を羽織られている様子